

スーパー耐久シリーズ 2017
第2戦スポーツランドSUGO



東 徹次郎
TOHJIRO AZUMA

自分にとっては久しぶりの SUGO！！

苦しみながらも 2 戦連続でポイント Get！！

- ・開催サーキット：スポーツランド SUGO（3.704km）
- ・レース時間：3 時間
- ・チーム：T's concept
- ・マシン：T's concept 86 (TOYOTA86)
- ・カーナンバー：＃29
- ・クラス：ST-4
- ・ドライバー：A **東 徹次郎** B 松永 大祐 C 小倉 康宏



公式予選（4月29日）

◆Weather：晴れ ◆Course：ドライ

前回の開幕戦からマシンのリアウィングが大きくなり、足回りのベースセットも変更になって始まった SUGO ラウンド。

更に前日までのプラクティスでもいろいろ足回りのセットを試していました。前日の最後のセッションで良い方向に感じられたセットを更に攻めてみようという結論になり、自分の予選でバネレート、スタビライザーの仕様を変更して臨みました。

自分の A ドライバー予選でブレーキローターの焼き入れもすることになり、最初の 2 ラップくらいはブレーキの当たりを確認しながらペースを上げていきました。

ハンドリングは出口のプッシュアンダーはそんなに変わらないものの、切り始めの感触などは良い感じでした。

ただ、タイヤも New なのでオーバーグリップ気味なのか前日と比べて加速が重い。

そして最終コーナーから出てきて 5 速に入るタイミングが明らかに遅くなっていました。

全開率は上がっていてフィーリングは悪くないけどタイムが全然出ないという状況。

ストレートスピードも前日と比べて 10km/h 近く遅くなっていました。

結果、A ドライバー予選クラス 14 位と大きく沈んでしまいました。

B ドライバーの松永選手のときにはリアウィングを更に寝かせてストレートスピードも戻り、自己ベストタイムを更新する走りでクラス 9 位を獲得。

合算により、クラス 12 番手からのスタートが決まりました。

予選後ロガーで確認するも、ダウンフォースの問題というよりは自分の予選時にはブレーキが少し引きずってしまっていたのか、何か抵抗が発生しているような波形で問題があったという監督の見解でした。

予選結果：12 位 3'11.886（A・B 合算タイム）

A：1'36.162 B:1'35.724 C:1'36.593

決勝（4月29日）

◆Weather：晴れ ◆Course：ドライ

決勝に向けてはセッティングを変えずに臨みました。
スタート前のウォームアップ走行の時間には雨が落ちていましたが、タイヤを交換するほど路面は濡れず、スタート時にはまた太陽も出てドライで3時間のレースが始まります。

我々は前回のレース同様に松永選手がスタート、小倉選手へと繋ぎ、最後に自分が走るという作戦です。

時間的にも均等割りでした。

松永選手は後半アンダーステアに苦戦しながらも37秒台で順調に走行。

しっかりと小倉選手にバトンを繋いでくれました。

今回は毎ピット毎にタイヤ交換をしていく作戦でした。

小倉選手も途中から前走者に引っ張られるかたちでペースアップし、36秒後半から37秒台の良いペースで走行。

11位付近での走行でしたので、自分が交代するのにまずはポイント圏内のトップ10を目指していました。

そして自分の乗り込むピット時はフロント2本交換でピット作業短縮の予定でしたが、乗り換え作業でベルトが上手く入らずロスしてしまいます。

しかしながらマシンも順調なまま引き継いで自分がチェッカーに向けてコースへ。

フロントのみの交換だったからか、予選時の動きの重たさは無く自分的にはこの週末で一番乗りやすくは感じました。

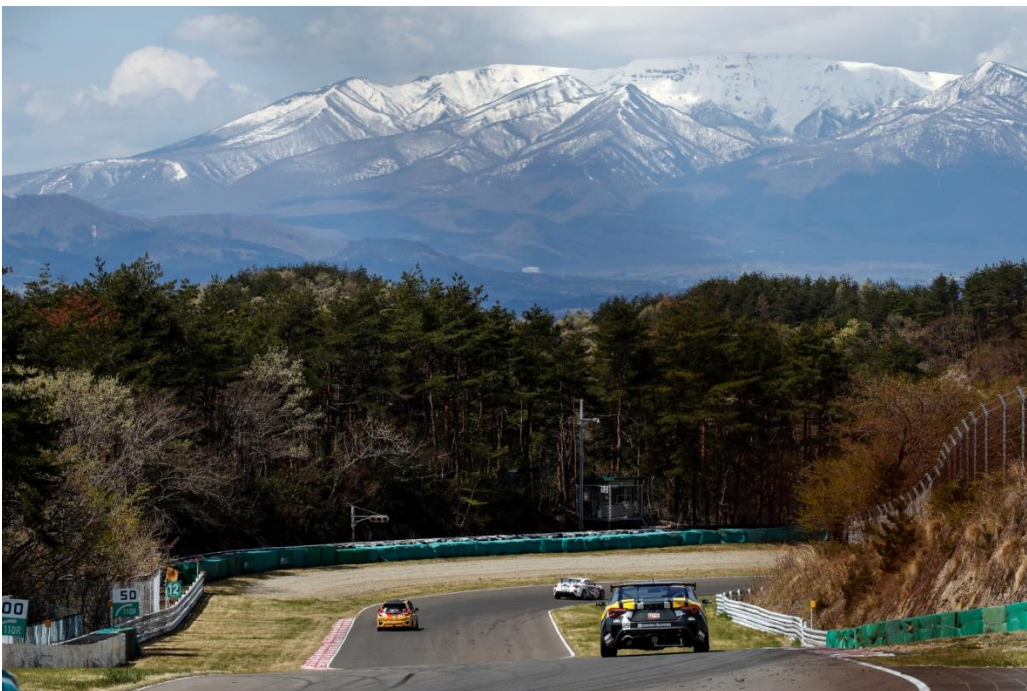
35秒台に入るのに少し時間がかかってしまいましたが、途中からペースが上がり他車と同等のペースで走行出来ていました。

ただトップとはまだ1~2秒の差があるのでそれは課題ですが、前回のもてぎのようにアンダーステアで苦しんでペースダウンもありませんでしたし、後半でタイムがスタート時より周りが落ちてきていることを考えると、確実に決勝のペースは前回より良いという手応えはありました。

暑さもそんなに感じなかったので、疲れを感じることもなくあっという間の35ラップでした。

区間のベストを繋いでいけば自分も34秒台で走れるペースなので、しっかりと課題も見えたレースになりました。

順位も終わってみれば9位でチェッカーを受けることが出来て、2戦連続でポイントも獲得することが出来ました。



決勝結果：9位（自己ベストタイム：1'35.751）

反省

まずは予選・決勝と共に言えるのが絶対的なスピードです。予選は今回ストレートスピードが伸びずタイムが出なかったこともあります。それを踏まえてもまだまだトップグループからは遅れています。何より予選では2ラップ目か3ラップ目にベストタイムを出しておきたいところですが、今回の予選ではそれ以降に出ているので、まだまだNewタイヤを上手く使えていない証拠です。次の鈴鹿は1周が長いだけにタイヤの良いところをピンポイントで使わないとタイムも出ないと思うので、今回の反省を踏まえて鈴鹿には臨みます。決勝ももっとしっかりとタイムをまとめることが課題です。良いセクションをまとめるともっと速く走れているデータなので、自分で勿体無いことをしている現状です。マシンも少しずつ良い方向に来ているので、マシンと自分をもっとリンクさせて、まずは自分の速さをもっと追究していきます。なかなか歯車が噛み合っていない自分に焦りも出ていると感じるので、それを払拭するためにも鈴鹿に向けてまた日々全力で取り組んでいきたいと思えます。



最後に

今回もたくさんの応援、有難うございました。
そしてプラクティスから大きなトラブルも無く走れていることに、チームに感謝したいと思います。
苦しみながらも2戦連続トップ10に入ることが出来て、貴重なシリーズポイントも獲得することが出来ました。
開幕戦と比べるとマシンも自分も少しずつ良くなってきてはいるので、しっかりと次に活かしていきます。
次回は6月10日、11日に鈴鹿サーキットになります。
この2レースは本当に自分自身に悔しい思いをしていますので、ここで凹んで終わるのではなく、しっかりとバネにして自分の成長に繋げていきたいと思えます。
どうぞ今後とも御支援御声援の程、宜しくお願い致します。

2017年4月30日

東 徹次郎

